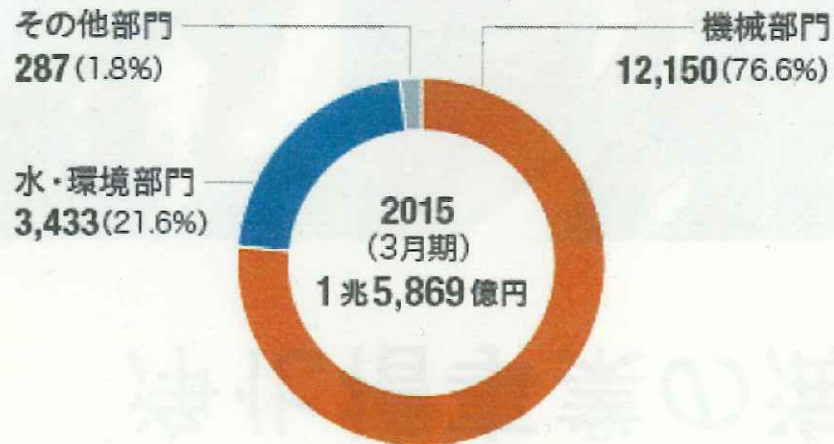


1.企業情報

社名	株式会社 クボタ
創業	1890年
売上高	1兆5,869億円(2015年3月期)
従業員数	35,487名(2015年3月31日現在・連結)
本社所在地	大阪市浪速区

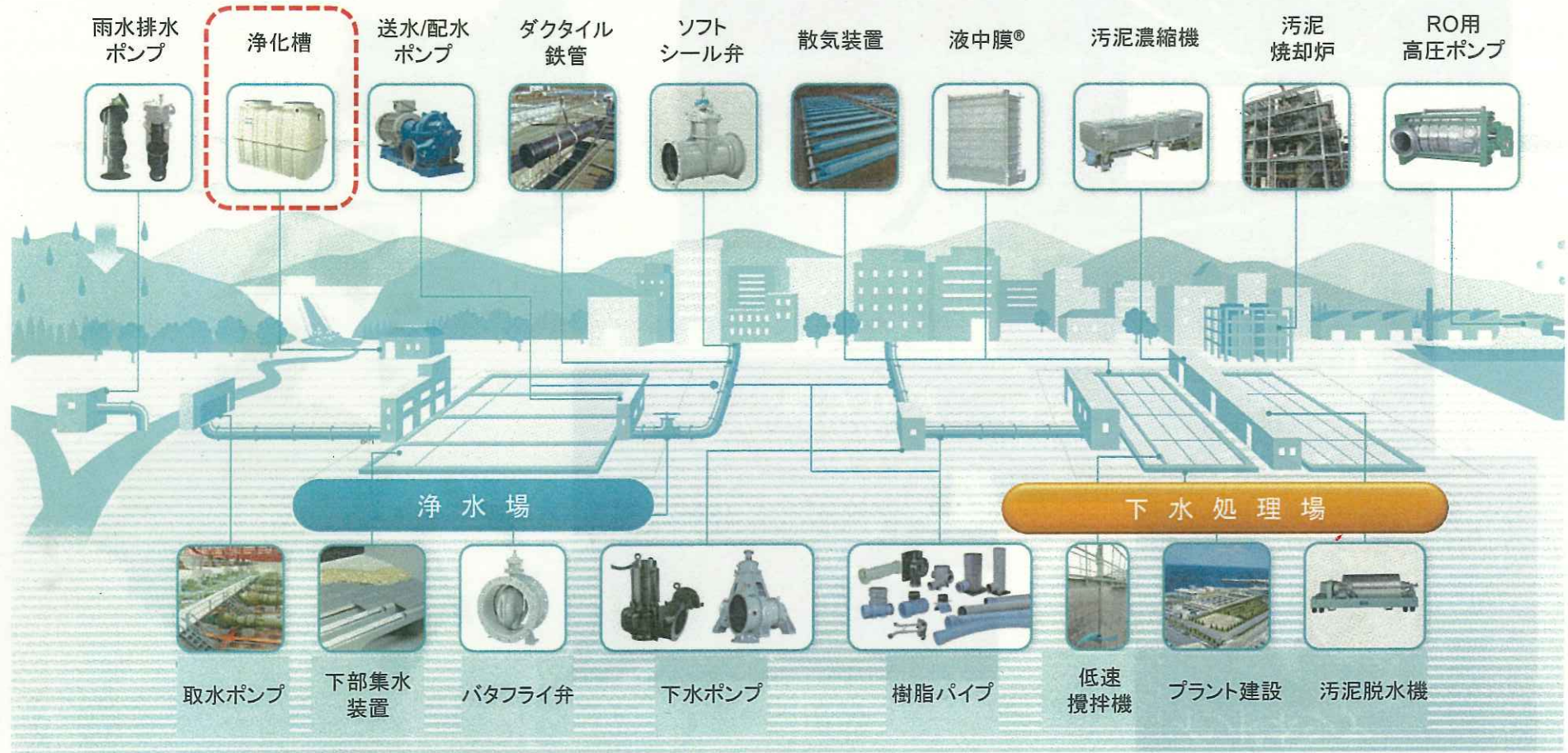
事業部門別売上高 (億円)



地域別売上高 (億円)



2.クボタグループの水・環境製品群



・パイプラインから水処理までをトータルでカバーし、取水してお客様へ届けた水を、処理して自然に返すまで、世界中の水循環に貢献しています。

1.クボタ浄化槽海外納入先



中国、東南アジアを中心に15か国への輸出実績

2.設置事例



レストラン(中国:10m³/d)



病院(ベトナム:250m³/d)



石油プラント従業員宿舎
(サウジアラビア:530m³/d)



工場(ミャンマー:30m³/d)

下水道が整備されていない地域の色々な建物に浄化槽が設置されています。

3.コミュニティ集中処理

- 📁 案件名 : マニラ市内Paco地区生活排水処理(フィリピン)
- 📁 処理能力 : 410m³/d
- 📁 稼動年 : 2011年
- 📁 処理方式 : 担体流動方式(地上設置仕様)



- ・都市化が進み下水処理場用地が確保出来ない為、地区毎に小規模の処理場を建設。
- ・槽内配管が複雑な好気槽には日本にて製造したFRP槽を納入。

海外事業拡大への課題

① 排水処理の基準が未整備

- 排水基準が存在しない国や、基準が有っても監視体制が無い為、粗悪で安価な装置が設置されている。
- 認定制度が無い為、粗悪品が市場に流通。

② 維持管理及び汚泥処分体制の不足

- 維持管理、施工等の技術者不足。
 - 汚泥処分の施設の不足。
- ※ 多くの国で設置されている簡易的な汚水処理槽(腐敗槽)では維持管理及び清掃がなされていない(使用者の認識不足)。

海外事業拡大に向けた要望

ODAを活用した浄化槽普及システムのパッケージ輸出

- ・浄化槽製品と一括で、浄化槽法を含む法律、認証システム、工事・維持管理方法、水質検査手法等を相手側政府に輸出

⇒法制度を輸出する、また製品だけでなく技術者育成へのご支援を
頂く事で排水基準や維持管理等の課題を解決

⇒コミュニティーごとに浄化槽を面的に整備することで、下水道と
同等の効果を発揮(インフラの一部として浄化槽を活用)

